

Yamaha News

ヤマハニュース 1994 No.373
S E P

9 月号



表紙写真は業種別チラシ(小売店)と連動しています。

ギア徹底研究特集 ● ビジネスバイクのニューウェーブ

これが **GEAR** だ!
BUSINESS SUPPORTER

特集

ビジネスバイクの
ニューウェーブ



これが

ギ ア

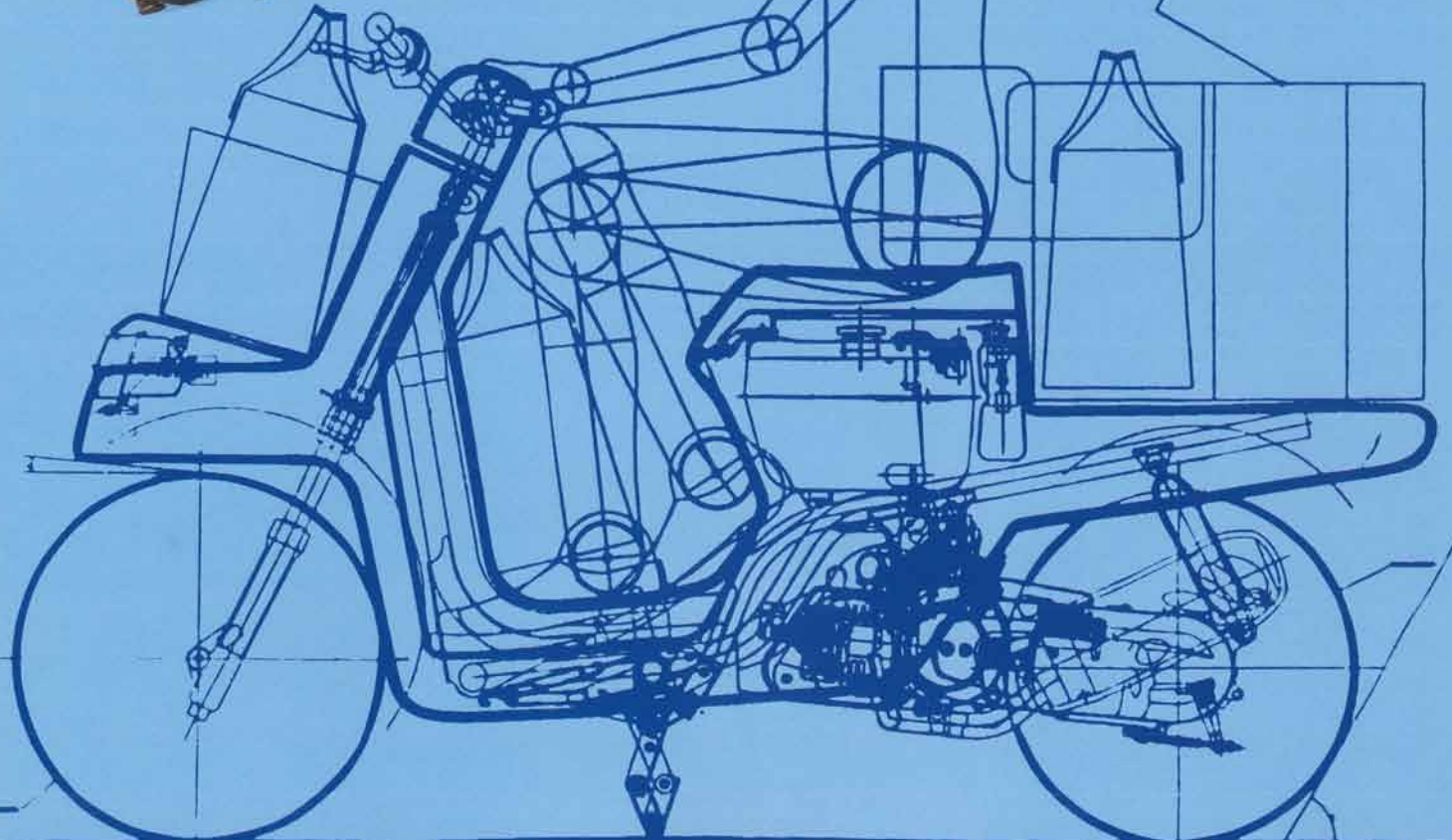
GEAR



BUSINESS SUPPORTER



だ!



業務専用だからこそカタチにも機能にもワケがある。『GEAR』徹底研究!



特集

ビジネスバイクのニューウェーブ

これが「GEAR」だ!



現在、業務での移動、運搬用として活躍しているバイクは、全国でおよそ100万台。しかし、社会のニーズはさまざまに多様化し続けている。そのなかで、本当に業務上使いやすく、便利な機能や性能を備えたバイクとはどういうものだろうか。

そこで、ビジネスバイクに求められるさまざまな現場の意見、要望を徹底調査。スタイルから機能、性能のすべてにわたり、ヤマハの持てる技術を総動員して作りあげた業務専用の1台が『GEAR』だ。ここでは、ホイールの材質ひとつにもこだわる『GEAR』の「こうなったワケ」をひとつずつ明かしていこう。

なぜ、いま「ギア」なのかな



サービスの小口
宅配化で
業務需用は安定、
伸長傾向

ヤマハがバイクを作りはじめて39年。その間、世の中は大きく変わり、業務のなかで移動、運搬用にバイクを使う職種も、新聞店やおそば屋さんなどのほかに**宅配ピザ店といった新しい業態が増えてきた。**

これは、さまざまな業種でサービス競争が激しくなり、「わざわざ来店いただくなくてもお宅へお届けします」という**宅配化、小口化**が進みつつあったからで、この傾向はバブル崩壊後ますます拡大してきている。

そのため業務バイクの市場は、全体の4分の1を占める新聞店をはじめ、銀行などの営業・外交、飲食店の出前・ケータリング、酒・米の配達などで、年間需要は約19万台で推移しながら、さらに伸長を見せそうな勢いだ。



バイクを使う
業務への
進出著しい
「AT世代」

では、こうした業種のなかでバイクを使っているのはどんな人たちか。

まず需要の中心を支える**新聞店では、配達に携わる人の半数がパートの主婦などの女性**で占められている(ヤマハ調べ)。さらに、ピザの宅配などでは学生アルバイトが大半。

また、会社で営業や外交に出る人は**年齢的に20代から30代**が多く、酒屋さんや米屋さんなども代替わりして若い店主になりつつある。

ところが、この女性や若い年代の人たちというのは、1982年をピークとするファミリーバイクやスクーターで育った世代。

ほとんどはギアチェンジが必要なバイクの経験がなく、**オートマチック変速にオートチョーク、セルモーター始動は当たり前**のいわば「AT(オートマチック)世代」なのだ。



「ギア」の
キーワードは
オートマチックで
骨太

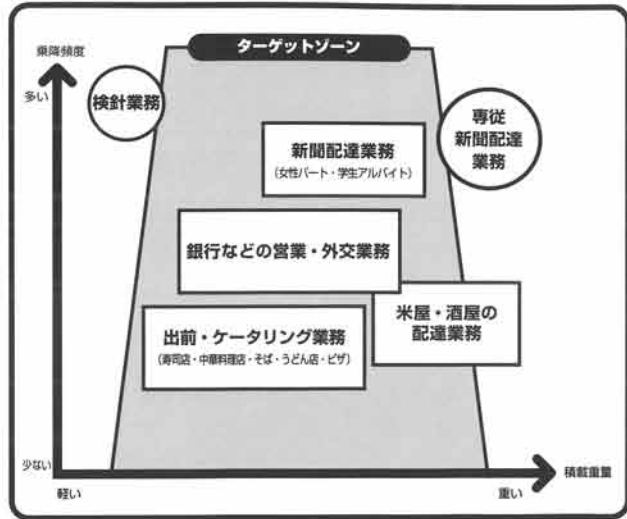
現在、全国で業務に使われているバイクは約100万台。

ところがそのうちの大半は、メイトのようなアンダーボーンフレームタイプ。AT世代にとっては苦手なモデルだし、これまで、その頑丈な作りを生かして業務用にさまざまな改良を重ねてきたとはいえ、もともと業務用で開発されたものではないため、お客さまの要望に答えられないところもある。

そこでヤマハは、**AT世代にも扱いやすく、業務用に徹した耐久性と経済性、機能、性能を持った専用バイク**の開発が必要だと考えたのだ。



図1. 「ギア」ターゲット イメージ



ターゲットは 4グループ 使用実態に 合わせて設計

開発にあたって、さまざまな業種でのバイクの使われ方を調査したところ、乗降頻度と積載量で各業種の特徴を表現できることがわかった。(図1)

そのなかで、「ギア」は、「銀行などの営業・サービス業務」「パート、アルバイトによる新聞配達業務」「飲食店の出前・ケータリング業務」「酒、米などの配達業務」をメインターゲットに設定し、こうした業務を行なうのに十分な耐久性と走行性、使い勝手の良い機能を探り、作り込んでいった。

だから、もう一つになった

乗降しやすさと 高剛性を 両立させたフレーム

業務で使うバイクは、図1でわかるように積載量が多く、しかも頻繁に乗り降りしやすいものでなければならぬ。

ところが、最も乗り降りしやすいスクータータイプの車体はフレームの構成上剛性が上げにくく、といって、剛性が高いスポーツ車タイプのフレームは乗降しにくいという、相反する性質がある。

そこで「ギア」では、スクータータイプのフレーム形状を取りながら、パイプ径を太くし、フロアパネル下のフレームを3本支持にすることで剛性をアップ。通常のスクーターと比べ、約2倍の剛性を確保した。

4つのメリットを持つ アルミダイキャスト ホイール

「ギア」には、質感の高いアルミダイキャスト製のホイールを採用しているが、それは単に外観上のメリットだけではない。

まず、ふつうのスクーターに比べ前後輪で2kgの軽量となり、操縦安定性向上にも役立っている。また、急激なエア漏れがないチュー

ープレスタイヤを装着できること。さらに、ホイールと一体化したブレーキの放熱性も良くなるので、重い荷物を積んでブレーキに負担が大きい場合でもフェードしにくいなどの利点がある。

パワフル・クリーン・ サイレント 三拍子そろった ATエンジン

業務に使われるバイクのエンジンは、荷物を載せてキビキビ走れることが第一条件。登坂性、加速性を重視して力のある2サイクルエンジンでなければならぬ。だけれども乗れる50cc、オートマチックが最適となれば、それはまさにスクーターのエンジンだった。

ところが、通常のスクーターエンジンをそのまま業務に使うと、ゴー&ストツブが多いため変速ヘタリやマフラーづまりによるトラブルが起こりやすい。そこで、変速カムに特殊メッキを施して摩擦を防ぎ、また、YCLSを採用してオイル吐出量を最適化。つねにパワフルな出力特性を維持し、マフラーからのオイルダレ、排気煙も少ないクリーンなエンジンとした。

さらに、スクーターではトップクラスの静粛性とアプリオに匹敵する低燃費も合わせて実

現じ、「ギア」は環境にやさしい1台といえる。

荷物を載せても フラつかない 走行安定性を生む 4つの秘密

大きな荷物をカッシリ受け止め、安心して走れる走行安定性の高さも「ギア」の魅力だ。その秘密は、先に紹介した高剛性フレームがひとつ。次に、シヤイロ効果が高い大径&ワイドなタイヤ。そして、荷物を満載しても操縦性への影響が少ない最適な前後重量配分。

さらに、フロントバスケット (オフション)をボディマウ ントしているから、荷物の重さでハンド ルをとられることも少ないのだ。

荷物を積む
位置にこだわる

「ギア」のリアデッキは、メインより約90mm低い地上620mmに設定。この高さなら、かなりの重量物でも積み降ろしがラクだし、後輪車軸の真上とすることで走行安定性も損なわれない。積載量は、20kg・390×340mmとたっぷり。さらに大型のリアキャリアもオプション設定されている。

またフロントバスケットをボディに取付けた時、ヘッドライトやウィンカーが荷物で隠れないよう、ライト類はあらかじめバスケット



特集

ビジネスバイクのニューウェーブ
これが「GEAR」だ!



の位置より下に設定している。
現金や重要書類の入ったカバンなど、なるべく手元に置きたいものはハンドル下のカバンフックが便利だ。10kgの荷重を支えられる頑丈なものだが、銀行などで使うカバンなら、底がフロアパネルに接地する高さに設定。フックとフロアの2点で支え、ブラブラしにくいようになっている。



使い勝手も バツグンの ラクチン機構

『ギア』はスクーター並みの扱いやすさ。セル始動、オートチョーク、オートミッションはもちろん、ステップスルーで720mmの低シート高のおかげで乗り降りがラクラク。

また、ハンドル切れ角はスクーターより大きい50度。最小回転半径1・75mを実現し、狭い袋小路でのUターンもカンタンにこなせる。
さらに、面倒な給油の手間を省く9Lの大型燃料タンクなども装備している。



荷物を載せたまま 安定駐車 『パーキングスタンド』

BA50S、BA50STに装備される**パーキングスタンド**は、サイドスタンドのように車体の左右を支え、同時にリアブレーキをかけて前後の動きを抑える仕組み。**メインスタンド**と

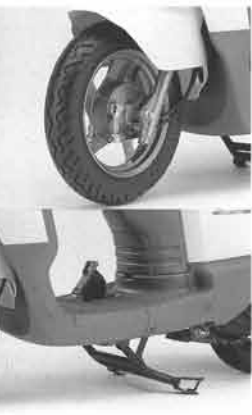


違って車体を持ちあげないから、重い荷物を載せたままでもラクに、メインスタンドと同じように安定駐車できる。

しかも、サイドスタンドと違って直立するから荷物の積み降ろしもそのままOK。操作はリアブレーキレバーと片足一本のツアクション。スタンドがけも解除もアツという間の早技だ。

つまり、メインスタンドとサイドスタンドのいいところを兼ね備えた画期的なシステムといえる。

それでも、メインスタンドは全車標準装備されているし、ぜひサイドスタンドが必要ならBA50にオプションで設定されている。



ボディカラーは シブめの白 「ここ」にもワケ がある

会社名、店名などを文字で入れられるよう、『ギア』のボディカラーは白だけ。そのために7色の『パーキングオーダーシステム』を用意している。

その分この白は、塗装せずに素材そのものに着色する**AES着色**を採用して、傷による**塗装はがれが目立たない**ように配慮。しかも、ややグレーっぽい白なので、**ホコリや排気ガスの汚れも目立ちにく**くなっている。



より便利な機能を 付加する オプションパーツ

全身機能にあふれた『ギア』だが、使い方によってもう少しプラスアルファが望まれる場合もある。そういう時便利なのがオプションパーツ。

例えば、袋状の防寒ハンドルカバーでは手の抜き差しが面倒という新聞配達などに向けて作られた「ハンドルプロテクター」。風の巻込を極力抑えながらグリップのじやまにならない形状になっている。**現場の意見を取り入れた、細部の親切設計**がポイントだ。

「待ち」ではなく「攻め」



サービスの小口化は バイクショップも 同じ!

宅配の浸透など、サービスの小口化が広がる傾向は、**対岸の火事ではない**。
バイクショップも同じサービス業として、攻めの販売をすすめていかねばならない時期であり、まして、業務用バイクの市場は待ちの商売では広がらない。

乗ってこそ良さがわかる『ギア』は、**出張試乗会などを企画して積極的な拡販に務めたい**。



洗練された機能美 は都会の 「コミュニーター」にも

またそのために、さまざまなセールスプロモーションツールも用意(6〜7ページ参照)しているので、ぜひ活用してほしい。

『ギア』のスタイルは機能のカタマリ。デザインのためのデザインは一切ない。それだけに、**飾り気のないシンプルさを好む人には、オトナの「コミュニーター」**としておすすめしてみるのもいいだろう。

ギア いたれりつくせりのGEAR用SPツール キチッと活用して大きな成果を

“ギア”の商品性を理解していただく最短の手段は、なんといっても試乗。
ギア最大のセールスポイントである業務用バイクに求められる機能の数々を訴求し、
“見てみたい、触ってみたい、乗ってみたい”気を起こさせるツール類です。
上手に活用し、ぜひ大きな成果に結びつけてください。

GEAR用SPツール一覧

品名		内容 (サイズ/素材)	
店頭用POP	のぼり	発売告知とともに、店頭を賑やかに演出します (1800×600mm/3色シルク印刷)	
	ハンドルPOP	価格と本体の特長をアピールしながら、展示車の存在感を際立たせます (296×540mm/3色×2色、両面PP加工、白エンビパイプ裏面テープ止め)	
	パーキングスタンドPOP	ステップボードに敷き、パーキングスタンドをフィーチャーします (軟質塩ビ製、1mm厚、3色シルク印刷ニスびき)	
	荷台POP	荷台に敷き、スペースの広さを訴求します (軟質塩ビ製、1mm厚、3色シルク印刷ニスびき)	
ユーザーDM	ハガキ	商品特長を簡潔に説明した2ツ折りハガキです (4色・4色)	
	封書	発売告知リーフ	発売告知と商品特長を説明した封書DM用リーフレットです (4色・4色、封書サイズ)
		試乗会案内状	試乗時の受け付けカードも兼ねた試乗会案内状です (4色・4色、封書サイズ)
		DM用封筒	中身が見えるDM用YAMAHA封筒。告知リーフレットや試乗会案内状、業種別チラシなどの郵送にご活用ください
業種別チラシ		〈新聞店用〉 新聞販売店のアプローチ用に、新聞積載時の各種機能を強調してアピール。専用オプションも紹介してあります (A4判/4色・4色)	
		〈ビジネスマン用〉 銀行員やOA機器のメンテナンスサービスなど、ビジネスマンの各種外交訪問活動に適したギアの特長を強調してアピールします (A4判/4色・4色)	
		〈一般小売店用〉 酒屋、米屋、そば屋などの街の小口配達業務に対応するギアの機能を強調してアピールします (A4判/4色・4色)	
	プロモーションビデオ	様々な業務場面におけるギアの機能と特長を、印刷物にはない立体的な表現で紹介いたします。訪問時や店頭での接客時にご活用ください (VHS/10分)	

※上記ツールに関するお問い合わせ、お申込みは担当ヤマハマンまでお願いします。

もうひとつの売りのキメ手! GEARマーキング・オーダー・システム

店名や社名、電話番号やロゴマークなどがお客さまのお好みの書体や大きさで、簡単に安く、しかもキレイにギアのボディへ入れることができるギア専用の新システムです。

業務用バイクならではの、走る広告塔としての機能が簡単に付加できるこのシステム、本体のアピール時にぜひお客さまにご説明ください。システムを解説したパンフレット、オーダー票の用意があります。詳しくは担当ヤマハマンにお問い合わせください。



GEAR用SPツール

業種別チラシ

(新聞店)

ヤマハ「ギア」新登場!
新しい新聞広告があるなら、
ヤマハ「ギア」新登場!

何といても、乗りやすく、扱いやすい。
働く人に最適な
オートマチック車「ギア」。できました。

YAMAHA

表

(ビジネス)

仕事をセシよく
スマートにこなす
ビジネスマンに、
ヤマハ「ギア」誕生。

何といても、乗りやすく、扱いやすい。
働く人に最適なオートマチック車「ギア」、
できました。

YAMAHA

YAMAHA

(小売店)

出前・配達のおシゴトに、
ヤマハ「ギア」誕生。

何といても、
乗りやすく、扱いやすい。
働く人に最適なオートマチック車「ギア」、
できました。

YAMAHA

表

発売告知DM

表

表

「お仕事専用設計」だから、乗りは感じるこの違い。
ぜひ、ご来店ください。

YAMAHA

中面

中面

発売告知リーフ

YAMAHA

表

表

「お仕事専用設計」だから、
乗りは感じるこの違い。
ぜひ、ご来店ください。

YAMAHA

中面

中面

店頭POP

●ハンドルPOP

YAMAHA

お仕事に「ギア」新登場!

GEAR BUSINESS SUPPORTER

●荷台POP

大型リアデッキ
この広さ

パーキングスタンド
ギアだけの新機能!

●パーキングスタンドPOP

●のほり

お仕事には、このカタチ

お仕事に「ギア」新登場

モニターキャンペーン実施中

GEAR BUSINESS SUPPORTER

YAMAHA

試乗会案内状

「お仕事専用設計」だから、
乗りは感じるこの違い、ヤマハ「ギア」
ぜひ、ご来店ください。

表

表

表

裏

ビデオ



セールスガイド

YAMAHA

「ギア」
セールスガイド

GEAR BUSINESS SUPPORTER

表紙

表紙

NEW Model

ベリーダークバイオレットカクテル2[SH50ES]



またまたキレイになって登場

9月1日発売

ヤマハスクーター

MINT

ミント

メーカー希望小売価格: ¥94,000^[SH50] ¥109,000^[SH50ES]
セル付

(北海道、沖縄および一部地域を除く) ※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録ともなう諸費用は含まれません。

カラー: [SH50] ラズベリーレッド、テンダーホワイト、[SH50ES] ベリーダークバイオレットカクテル2、ディープレッドカクテル2、ペパーミントシルバー、シルキーホワイト

低価格帯スクーターの定番モデルとして、安定した人気を得る“ミント”が、高級感あふれる新色を採用して登場です。また、タンクキャップをスライドキー付タンクキャップに変更、自動点灯ヘッドライトも採用して、機能アップも図りました。

コスト意識の高いお客さまへのおすすめモデルとして、ご拡販よろしくお願いたします。

ディープレッドカクテル2[SH50ES]



シルキーホワイト[SH50ES]



ペパーミントシルバー[SH50ES]



テンダーホワイト[SH50]



ラズベリーレッド[SH50]



楽しい思い出がギッシリ！ 全国各地で HOTな夏祭り

7月16日・17日、茨城県・筑波サーキットで行なわれた「'94Y. E. S. S. サマーフェスティバル」は、鈴鹿8時間耐久出場を目前に控えた永井康友、吉川和多留の両ワークスライダーがゲストで登場。トークショーやチャリティオークションを行なって、たくさんのお客さまがステージのまわりを埋めた。さらに、イベント広場では恒例の青空市場（ガレージセール）や旧車展示会、各営業所ごとに設けた屋台が軒を並べ、さまざまなゲームを行なうなど人気を集めた。そのほかレーシングコースでは「ザ・サウンド・オブ・シングルス」、東コースでは「アイドル杯ミニバイク8時間耐久」といったレースも併催されて、炎天下の白熱したバトルを展開。ライダーの夏まつりにふさわしく、バイク三昧の休日となった。なお、チャリティオークションや各イベント参加費などの収益から約22万円、ヤマハ東京からは146万円がナイスライド募金に寄付された。



真夏の太陽がすっかり沈むと、さすが信州は冷気に包まれる。しかし夢科湖畔は、キャンプファイヤーに炎が立ちのぼり、ムードは最高潮！8月6日～7日に行なわれた「'94Y. E. S. S. アースリーランin夢科」会場となった長野県茅野市・夢科湖畔に駆けつけた340名を越すスタッフとその仲間たち。夜がふけるとともに参加者はシフトアップし、ステージに負けじとパフォーマンス合戦。満天の星空の下、レイクサイドで交戦。ちょっとしゃれたアースリーランin夢科だった。

7月23日・24日、香川県坂出市の瀬戸大橋博跡地で行なわれた「夏のバイク祭りin四国」は、ヤマハほか二輪4メーカーの合同イベント。参加者たちはまず屋台村やパン食い競争などでのんびり過ごしたあと、ナイトステージで大はしゃぎ。翌日も、勢ぞろいした各社のスポーツバイクを乗り比べたり、全日本MXと同じコースで2時間エンデューロレースに出たりして夏の休日を楽しんだ。



広島県世羅郡のグリーンパーク弘楽園で開催された「'94ニリンピック 夏のバイク祭り」は、四国と同様二輪4メーカーの合同イベント。8月6日・7日の2日間にわたり、昼はエンデューロレースやミニバイクレース、PK合戦、子供広場、夜はタレントショーやゲーム大会などを行なってたくさんのライダーが参加。にぎやかに盛り上がった。



Racing in Color

Coca-Cola 1994
Suzuka 8 hours

本スーパーバイクで1勝ずつを上げており、こちらも十分に優勝を狙えるチームである。予選で#5 ローソン/永井組が13位とやや出遅れたのに対し、#21 藤原/吉川組は4位と、その速さを見せつけた。

しかし、決勝開始30分後に起こったクラッシュによる史上初の赤旗中断を境に、両チームの明暗が分かれる。

この事故の直前、トップ争いを演じていた永井はダンロップコーナーで転倒を喫するが、中断の間にマシンを修復し第2ヒートでレースに復帰する。

一方、同じくトップ集団にいた藤原は、クラッシュに巻き込まれてスペアマシンでの再出走となるのだが、藤原に代わって第2ヒートをトップの位置からスタートした吉川が1周目に転倒し、無念のリタイアとなってしまった。

ところが、残った#5も万全ではなかった。リアサスペンションに不調を抱え、それでも、徐々に遠ざかるトップを見据え、それぞれが全力のレースを続けていく。

そして、ついにレース終了のレッドフラッグ。ローソンは静かに「ベストを尽くしたよ」とつぶやいた。

■'94鈴鹿8時間耐久レース

- | | |
|-------|--------------|
| 1位 | ポーレン/スライト(H) |
| 2位 | ラッセル/ライマー(K) |
| 3位 | 伊藤/武石(H) |
| ----- | |
| 4位 | ローソン/永井(Y) |
| R | 藤原/吉川(Y) |

今年、鈴鹿8時間耐久レースに再びエディ・ローソンがやって来た。

ペアを組むのは永井康友、そしてヤマハYZF750。「過去3度にわたる世界GP制覇と2度のデイトナ200優勝、そして1度の8耐優勝をとに分ち合ったヤマハこそ、バイクで最後のレースを飾るにふさわしいチームだ」ローソンはある雑誌のインタビューに、こう答えていた。

この決意を表すように、彼が永井に手渡した色紙には「All the best #1 (ともに優勝をめざそう)」の文字。勝利に向けて、110%の力を集中しようという意欲が、チーム全体にはっきりと表れてきた。

そして、Y.R.T.R.のもう1台は、藤原儀彦/吉川和多留のペア。互いに全日

ローソン「最後の夏」は表彰台に一步届かず!



不覚の転倒を喫したものの、永井はローソン以上の走りでチームを引っばった



#21 藤原、吉川はトップを争いながらわずか12周でレースを終えた

4Hの頂点は再びTZR! 中野/山内組が4耐を制す

TZRに2年連続4耐制覇をプレゼントした中野/山内組



S P250、400のマシンを駆るNBライダーたちの登竜門・4時間耐久レースは、8耐決勝の1週間前、7月24日に決勝の火ぶたが切られた。

ポールポジションは、名門・S P忠男レーシングチームの#1 中野真矢/山内俊児組。ともに16歳の最年少コンビながら、エース中野がコースレコードの2分22秒630を叩き出し、TZR250R S Pをグリッド最前列に並べていた。そのほか7、8番手にはRC甲子園の#7 加藤達也/宮田剛志組、#8 田中雄一/辻井亨組といったTZR勢が上位をうかがう。

そしていよいよスタート! #1 中野はやや出遅れるが、2周目でトップ

を奪い返し、#2 武田と激しいトップ争いを展開。しかし、予選タイムをさらに1秒も短縮するファステストラップを出しながら逃げる中野が、ジリジリと差を広げ、山内にスイッチ。

その間、#2に一時先行されたものの、山内が再び逆転すると、その後はまったく危なげない余裕のレース運びで独走。まだF3マシンで行なわれていた頃の4耐最高周回数に並ぶ、トータル99周を記録して優勝を飾った。

このほか、#7 加藤/宮田組も5位に入った。

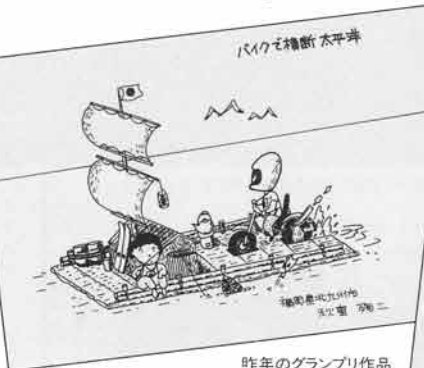


原田、永井、町井、塩森などのライダーを輩出した名門・S P忠男にとって、4耐優勝は初めて

INFORMATION

Y.E.S.S.

ありがとう! 1405通
『セーフティ“1枚の絵”コンテスト』



昨年のグランプリ作品



大阪府守口市 金澤逸子

Y.E.S.S.では毎年、ライダーのみならずや広く一般の方々に、バイクの楽しさや安全運転の大切さをアピールする『Y.E.S.S.ナイスライドキャンペーン』を展開していますが、その一環として今年も6月1日から『セーフティ“1枚の絵”コンテスト』の作品募集を行ないました。

その結果、7月31日の締切りまでに全国から寄せられた応募作品は、合計1405通に達し、1点1点に温かいメッセージが感じられる力作ばかり。

みなさまの深いご理解に感謝いたし

ます。ありがとうございました。

これらの作品は、9月1日に厳正な審査のうえグランプリほかの各賞13点を決定させていただきます。

発表は9月下旬。入賞者へ直接連絡するほか、オートバイ専門誌、W A Y、ヤマハニュース、Y.E.S.S.ショップおよび住友海上代理店店頭などで行ない

WGPチャンピオンマシンを造る!
タミヤから『TZ250M』新発売

原田哲也選手のライディングで、'93世界グランプリGP2を制したチャンピオンマシン『ヤマハT Z250M』が、田宮模型よりプラモデルになって新発売されました。

溶接跡さえ生々しく精密に再現された独自のアルミデルタボックスフレーム、Y P V S 作動ブーリーや連結リンクを別パーツとしてハイメカ

ニズムを強調するエンジンまわり、そして微妙な曲線がリアルなカウルは2分割のビス止め式。

田宮ならではの正確な作り込みが、実車の持つ機能美を余すところなく忠実に伝えてくれます。

秋の夜長、虫の音でも聞きながら色塗りに励み、じっくりと組み上げてみてはいかがですか。

■ヤマハT Z250M

1/12スケール、1800円(接着剤、塗料等は別売り)。発売:田宮模型



SERVICE

道路運送車両法が一部改正
二輪認証基準も変わる?

今年6月、道路運送車両法の一部改正案が国会を通過し、7月4日、公布されました。

今回の改正は、運輸技術審議会の答申を受け、ユーザーの保守管理責任の明確化を柱にした車両の検査、整備点検の大幅な見直しを行うものです。

その詳細については現在検討中とのことですが、懸念となっていた二輪の認証基準緩和についても盛り込まれることが確実となりました。

改正案の施行は、公布されてから1年以内とのことで、来年の夏ごろ予

想されます。みなさんのお店でも、認証取得に向けて早めの準備を整えておきましょう。

●YTSヤマハ二輪車整備士講習会

版社	月	9月
北海道 ヤマハ		
ヤマハ 東北		
ヤマハ 東 京	B	2M 4M 2M 6-8 13-15 20-22
ヤマハ 中 部	2M	20-22
ヤマハ 関 西	2M	6-8
ヤマハ 中 国		
ヤマハ 四 国		
ヤマハ 九 州	4M	7-9

B/ベイスック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により、開催変更および中止となる場合があります。また、ベイスックは拠点開催ですので、日程のないものは各営業所へお問合せください。



A D

9月のヤマハ提供番組

■ヤマハONアンドOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数々をご紹介します。

巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマインドたっぷりにお届けします。

テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ和歌山、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。奈良テレビ/毎週金曜日18時45分から19時00分。三重テレビ/毎週水曜日24時30分から24時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時00分。東北放送/毎週金曜日24時40分から24時55分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。伊予テレビ/毎週土曜日11時30分から11時45分。

- ▶ 9月3日<マリン編>
『ホイットブレッド最終章』
- ▶ 9月10日<MC編>
『エルドの森でバイクミーティング』
- ▶ 9月17日<マリン編>
『アートなポート&キャンピング』
- ▶ 9月24日<MC編>
『バイク世界一周前夜』

■'94世界グランプリロードレース

昨年、原田哲也のGP2チャンピオンという、すばらしい成果を得たヤマハ

は、今年も強力なマシンと才能あふれるライダーを擁し、世界GPにチャレンジします。

ワークス参戦しているGP1やGP2はもちろん、プランニューTZ125の活躍が期待されるGP3など、各クラスにわたって話題も盛りだくさん。1戦たりとも見逃せない、スーパーバトルにご期待ください。

TXN系列全国ネット/毎週日曜日24時30分から25時25分。

■オリジナルコンサート

私たちの創った世界

世界各国で精力的に活動が続いている(株)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。

日曜の朝をすがすがしく彩る新鮮な音楽の響きをゆっくりとお楽しみください。テレビ朝日系全国ネット/放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。

■ぼっぶん王国<ラジオ>

ミュージックスタジアム

10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリズムたっぷりのラジオ番組です。毎週月曜と火曜、それぞれ切り口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。ニッポン放送他16局ネット。

ショップ合同オフ&バーベキュー キーワードは「ファミリー」!!

県内のY.E.S.S.ショップ36店で構成するY.E.S.S.茨城ショップ会が、7月24日(日)、茨城県東茨城郡小川町特設会場にて「Y.E.S.S.茨城オフロード&バーベキュー大会」を開催しました。このイベントは「家族でオフロードを楽しんでいただくことにより、オフ需要の底上げを図ることが目的」(ACヌマさん/笹沼 茂会長)。その言葉通り、ファミリー層を中心として300名を超えるお客さまが県内各地から集まりました。

当日は初心者を対象としたオフロードYRSに、PW50を使った親子バイク教室、さらにはA.T.V試乗会にオフロード走行会、スイカ割り大会など、楽しい催しが盛りだくさん。集まった参加者たちは折りからの猛暑もものもせず、元気に汗を流していました。こうしたショップ会主催のイベントは今後も継続される予定で、秋にはワンデイ・キャンプが計画されているそうです。



オフロードYRSには合計40名が参加した。その大半が「初めてオフを走る」人たち



ほとんどの参加者が家族を同伴。その数実に300名!

昼休みはショップ単位でバーベキュー



「お父さん、ちゃんとロープを持ってね。元気な声が聞こえた親子バイク」



'95コンペモデル TZ&TY-Z 二輪専門誌を対象に試乗会開催

'95ヤマハコンペモデルの発売を控え、その市場導入を円滑に促進するためヤマハでは二輪専門誌を対象とした試乗会を開催しました。まず7月30日、静岡県椎の郷トライアル場には専門誌6誌のジャーナリストが参集。'95モデルのTY250Zの優れた性能を確認するとともに、クトゥリエ選手の指導によるワンポイントスクールを体験取材して一日を過ごしました。



モトクロス初心者対象のワンポイントMXスクール

一方YZシリーズの試乗会は17誌40名の参加で8月2日、浜北トレールランドで実施。ここでも技術説明会、試乗会を終了後、モトクロス初心者の編集担当者を対象としたMXワンポイントスクールを実施。藤秀信、川崎智之インストラクターの指導のもと、熱心にレッスンを体験取材していました。

「コンペ車に乗れる良いチャンスになった」「遊ばせてもらい楽しかった」とは、普段コンペモデルに乗る機会の少ない編集担当者から両会場でも聞かれた共通の感想ですが、マシン性能の方にも絶賛の声が集中。詳しいインプレ記事は9月発売各誌に紹介されます。

戦闘力の高まった'95YZシリーズを試乗する専門誌テストライダー



豊かなバイクライフをめぐる 熱っぽく意見交換! 『バイクフォーラム'94』開催



堅苦しくないのがバイクフォーラムの特徴。パネラーの軽妙なトークが終始会場の笑いを誘っていた

(社)日本自動車工業会では、今年も人とバイクのよりよい環境づくりをめざし、「人とバイクの友好生活'94」キャンペーンを展開しています。

そのなかで、毎年8月19日「バイクの日」に行なっているおなじみのイベントが「バイクフォーラム'94」。今年も「ひとりにみんなにいいバイク」をテーマに、東京・よみうりホールでおよそ800名の来場者を集めて開催されました。

今回は、タレントの山口良一さんを司会役に、バイクジャーナリストの福田照男さん、エッセイストの山村礼子さん、能楽師の大倉正之助さん、スポーツキャスターの定岡正二さんがパネラーとして登場。各自各様のバイクライフを紹介する一方で、「交通社会の一員として安全にバイクを楽しむ方法」

などについてさまざまな体験談や意見が交わされました。

また、トークの途中ではローマ法王の前でも演奏した経験を持つ大倉さんが鼓を独演で披露。フォーラムとしてはユニークな進行に聴衆から「楽しい2時間半だった」という声が多く聞かれました。



「ほのほのバイクライフ」フォトコンテストの表彰式と入賞作品の展示も行なわれ、注目を集めていた

ジュビロも応援！いわたトンボ 予選16位ながら無念のリタイア

8耐には91年以来4回目の参戦。もうすっかりおなじみのチームとなった静岡県磐田市の「いわたトンボ」は、今年もサクセスブルーのYZFは、磐田市のシンボル65種のトンボにちなんだゼッケン65をつけて登場しました。

そして、スポンサーには同じ磐田に本拠を置くJリーグチーム「ジュビロ磐田」がついて、その名も「いわたトンボRTジュビロ」。

パドックでは、ジュビロのレプリカユニフォームに身を包んだキャンペーンガールが笑顔を振りまき、注目度はワークスチームにもひけをとらないほどでした。

こうした話題性の高さに発奮したのか、芳賀紀行/平山雅也の両選手は予選で堂々2分13秒台をマーク。スペシャルステージでも2分15秒565で16番手につける活躍を見せました。

残念ながら決勝では、41周目、他車に接触されて転倒リタイアを喫してしまったものの、プライベート勢ながら上位にからむ走りが光りました。

一方、「TEAM鈴鹿&いわたトンボRT」として4時間耐久に出場した川瀬正雄/袖木忠之組は、予選26位からスタート、みごと95周、16位でフィニッシュしています。



8耐、4耐での活躍が勢いをつけたか、ジュビロ磐田はナビスコップで準優勝、続くニコスシリーズもアントラース相手に白星発進した

名門『セントアンドリュース』に ヤマハゴルフカーが登場！



ヤマハゴルフカーは、その使い勝手の良さやタフな耐久性などから国内、海外を問わず数多くのゴルフコースで活躍していますが、このたびは、イギリスの名門『セントアンドリュース』へ独占供給されることになりました。

このコースは、共存全英オープン舞台ともなっている名門中の名門。必要以上に手を入れず、自然のままの地形、風土を生かしたレイアウトで、神が作り賜うたコースとさえいわれています。

これらは、そのコース管理や快適かなプレイを助ける移動手段として活躍することでしょう。

4月末には、すでに最初の10台が納入されている

ご老人の介護巡回に ヤマハ・ミントがー役

高齢化社会といわれて久しい日本。高あちこちの自治体や市民団体によるご老人たちへの福祉充実化がすすめられています。そこに携わる人たちの努力も大変なものがあります。

そんななかで、埼玉県北部の本庄市には、ロータリークラブ本庄支部のみなさんから、寝たきりのご老人の介護に役立ててほしいと、ヤマハ・ミント10台が贈られました。



ご老人の介護は、市の女性職員が一軒ずつ巡回してまわるわけですが、「ミントなら、マイルドなエンジンと広い行動半径のおかげで移動がずいぶんラクになる」と好評。

納車と整備を担当することになった『YOU SHOPたけうち』さんの竹内孝夫社長は「私もこの仕事を通して、少しでもロータリークラブや介護にあたる方のお手伝いができれば幸いです」と話していました。

7月14日には、本庄市役所で贈呈式が行なわれた

RACING

ベテラン光安 がんばる！ 3ヒート連続 3位をゲット



ランキングも6位に浮上。次は久しぶりの優勝を狙う

冷夏となった昨年から一転、猛暑に見舞われた今年の夏は、深刻化する水不足のおかげで、全日本MX第8戦・瀬戸大橋大会も開催が危ぶまれたほど。

しかし当日は、焼けつくような暑さ以上に白熱したレースが展開され、今年36歳になるベテランの光安鉄美が第1、第2ヒートとも3位に入る激走を見せた。

まずティチナー、ウォーレンの両外人選手が先行して始まった第1ヒート、光安は1周目を9位で通過。そこから周回ごとにジリジリとポジションを上げ、ラストラップには4位につける。そして、3位高浜がフィニッシュジャンプを失敗する間に、みごと3位入賞で

飾った。続く第2ヒートも、光安は10番手あたりからスタート。脱水症状を起こしてリタイアする選手が出はじめるなかで、スルスルと順位を上げた光安は、中盤またもや3位につけた。そして、馬場との激しいポジション争いに競り勝ち、堂々の3位フィニッシュ！

今大会の日本人最高位を獲得するとともに、前回の東北大会に続く3ヒート連続3位を果たした。

「藤沢で買った百年茶のおかげかな？暑くてほかのみんなながバテてる間にがんばらないと。次のSUGOも暑そうだし、もういっちょヤルぜ！」とは、およそベテランらしからぬコメント。光安鉄美、健在である。

ブランデル2度目の入賞5位 右京も自己最高の予選5位を連発

コンビを組んで2年目となる『ティレル ヤマハチーム』は、シーズン後半を折り返してますます熟成度を高めている。

まず、予選10番手前後のポジションがほぼ安定位置となってきた2台の『ティレルヤマハ022』だが、片山右京はドイツGP、ハンガリーGPと2戦連続で予選5位に進出。決勝は不運なトラブルとアクシデントのためにリタイアに終わったものの、表彰台への夢が現実のものとして大きくふくらんできたといえよう。

特に、超高速のホッケンハイム（ドイツ）、ツイステイナハンガロリンク（ハンガリー）と性格の異なるサーキットでの成果だけに、ドライバーの技量はもちろん、ヤマハOX10B・J2エンジンや新レギュレーションに合わせて改良を重ねたシャシーの性能が驚異にアップしてきた証拠だ。

そうしたなかで、ここまで3位入賞のほかポイントゲッターがなかったブランデルも、ハンガリーでは予選1位からみごと5位入賞！ 自らの選手権ポイント点を6点と伸ばし、チームにも11点目をプレゼントした。

次のベルギーGPを含めると、残すところ6戦。表彰台に上がるティレルヤマハの青いスーツを、もう1度見られるのはどのレースだろうか。



「本当に速くなった」と周囲の評価がウナギ上りの右京。スタッフとの打合わせにも熱が入る

「白」を 活かす



オールラウンドな客層を引き込む、
 清潔感ある店づくり

商品ジャンルにこだわらない幅広い 商売のための新店舗

齊藤正利社長は6年前、裏通りから今の旧国道49号線沿いに場所を移して、新店舗に建て替えた。「昔ながらの、薄暗くて油や泥の匂いがしみついたバイク屋はもう時代遅れ。明るく清潔感のある店に、イメージを一新したい」というのがその理由だった。

そして、これをきっかけに、創業以来40年近く続けてきた自転車の販売をやめ、ヤマハのバイク一本に絞ろうかとも考えたという。なにしろ、子供の頃からモトクロスがやりたくて店を継いだ齊藤社長。今なお、全日本を追うチームを持ち、MFJスポーツ委員長も務めているほどだから、スポーツバイク中心の商売が性に合っている。

しかし、「まるきり別の土地ならともかく、昔の店からすぐ近い場所なので、やはり昔なじみのお客さんをいままさら手放すわけにもいかない。それで、スポーツからスクーター、ビジネス、自転車まで地元のお客さんを幅広く



モトクロスの全日本選手権を追うチームも抱えているため、サービス工場は機器設備、広さは十分。センタースタンドがないバイクでも整備しやすいよう、リフトの代わりにウインチを使っているのが特徴

く取りこめるよう、YOU SHOPにさせてもらったんです」

そのため新店舗は、明るく清潔で、しかもお客さまの年齢や性別にかかわらず好感を与えるデザインでなければならぬと考えた結果、外装から内装まで白一色に統一した。

「白イコール清潔ってカンジするでしょ。それに、全部シンプルに白にしちゃえば、ヘンに色がないぶんスポーツ色とかファミリー色にとらわれない店づくりができると思ったんです。だけど、鉄製の階段まで真っ白く塗るのは、下地の錆止めの色が浮いて大変だったみたいだよ」と齊藤社長は笑った。



今のスタッフは、社長とパートの佐藤勝美さんだけ。しかし、社長がMFJスポーツ委員長も務め、レースがある週末は店を休まなければならないのがつらいという

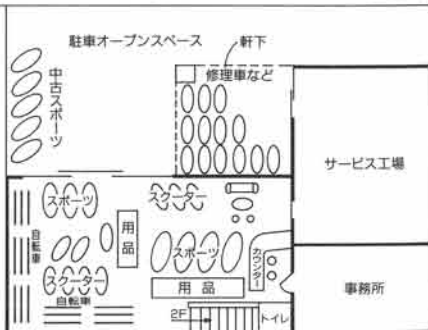
YOU SHOPさいとう

齊藤正利社長・新潟県中蒲原郡

新潟市に隣接する中蒲原郡亀田町の住宅街に立地。もとは田園地帯だったが、最近急速に宅地化が進み、今後さらに需要拡大が見込まれる。店の前を、付近の生活道路である旧国道49号線が走り、クルマでの来店も多いため広い駐車場を備えている。しかし、現在のスタッフは社長とパートの女性だけで、人材難が悩みのタネという。

●創業：昭和27年ころ。昭和62年に移転新築し、県内最初のYOU SHOPとなる。●店舗面積：敷地110坪、ショールーム24坪、サービス工場12坪、事務所4坪、倉庫(2階)16坪、オープンスペース30坪●商圏：亀田町、横越村一帯(人口約3万人)●販売構成：スクーター・ビジネス6、スポーツ4、自転車はスクーターとほぼ同数●客層：スポーツは20代後半から30代が中心、そのほかは幅広く分散●サービス資格：YTSシングルスター。二輪認証は現在検討中。

← 会津若松 旧国道49号線 新潟市内、亀田駅 →





内外装はすべて白で統一。清潔で明るい雰囲気づくりにこだわった

清潔な「白」を活かすカギは 展示車の配色とスペース配分

清潔感を与え、特定のショップカラーを感じさせないための真っ白な店舗。しかし、白とはつまり無色。生かすもコロすも使い方次第という難しさがある。

斉藤社長が第一に挙げたポイントは、清潔感を保つこと。まず店頭のオープンスペースは、クルマで来店するお客さまのために広く確保され、壁に沿った場所に中古車が一列に並んでいる。修理車などはすべて軒下に固めて置かれ、飾り気もないくらい整然と片付けられている。

そして店内に入ると、新築から6年もたつとは思えないほど真っ白な壁と木目調の床がシンプルなコントラストを見せる。掃除が行き届いているのはもちろんだが、入口のガラスサッシのほかに窓を少なくして壁や天井が日に焼けにくいよう工夫してあるせいだ。

さらに、壁のポスター類を意識的に少なくしているから、貼り跡がまだらに残ったりせず、狙いどおりきれいなホワイトスペースが活かされている。



2階の倉庫の出し入れに使うウインチを使って、展示にアクセントをつけた。TZMやPWがびったりだが、応用もできそう



軽量で幅を取らない自転車は壁際にかためて立体的に展示し、バイクは手前にゆったりとしたスペースで並べることで、店内を広く見せる。さらに、売れ筋だけでは黒っぽくなりがちな展示車を、意識的にカラフルにそろえて白一色の内装を活かしている

そのうえで、もうひとつのポイントになるのが配色だ。バイクも自転車も、売れ筋のカラーは濃いグリーンや紺。白をバックに黒と濃い色の商品ばかりでは雰囲気がか硬くなるので、できるだけカラフルなモデルを混ぜて配した。しかも、大柄なバイクの周辺はゆったりと、幅を取らない自転車は壁際に密集して並べ、豊富な商品展示数のわりに圧迫感を与えない工夫も行っている。

ところが、モトクロスチームを持ちながらコンペモデルが一台もない。なぜなら、「レースはあくまで私の趣味。店のなかに残しておく、だんだん歯止めが利かなくなっちゃいますからね」商売のあり方に対する、斉藤社長なりのケジメなのだ。



トピックス in Color



受賞者全員に中山選手のサイン色紙とバカボンバジャマ、そしてオリジナルの応援ハッピ、うちわをプレゼント。さらにハデハデ賞の柳沢妙子さん、ユニーク賞の山本健太郎さん、Oh!デカ賞の飲村昌弘さんにはジュビロ・ユニフォームも贈呈された

がんばれ!アプリオ『ジュビロ号』 ラジオと組んで カラーリングコンテスト



サッカーの応援はノリが大事。応援グッズと、顔にもしっかりメイクして、いざ出発!



伊集院光(中央)のギャグを織り混ぜた巧みな話術で、会場や移動のバス内は爆笑の渦。



スキラッチ、バウス、遠藤を欠いたこの日のジュビロは、声援むなしく敗れた

コン中山のJOGアプリオを「がんばれジュビロ磐田!」のイメージでカラーリングしよう! というキャンペーンが、ヤマハ東京とニッポン放送のラジオ番組『伊集院光のOh!デカナイト』とのタイアップで開催されました。

作品の募集は、6月27日から7月28日まで、ショップ店頭やニッポン放送の番組、新聞、週刊誌などを通じて告知。当选すると、番組のパーソナリティを務める伊集院光と一緒に「リーグ・ニコスシリーズのジュビロ応援ツアー」に招待されると



以前からジュビロファンで「ジュビロの旗をモチーフに、自分が本当に乗りたいと思ったカラーをデザインしました」という白井由希さん(千葉県佐倉市在住・OL)は、みこと大賞を射止めて願いをかなえた

あって、多数の作品が寄せられました。

表彰式は、8月17日、ニッポン放送・銀河スタジオで行なわれ、20名の当選者が出席。そのなかでさらに大賞、ユニーク賞、ハデハデ賞、Oh!デ

カ賞を1作品ずつ選び、大賞受賞者の白井由希さんには作品をそっくりカラーリングしたアプリオの「がんばれジュビロ号」が贈呈されました。

そして、オリジナルのハッピ、うちわを持ち、顔にはメイクも施して応援態勢を整えた一行は、伊集院光とともに専用バスで川崎・等々力競技場へ、ジュビロ対ヴェルディ戦の応援に出発。

残念ながら、熱心な応援にもかかわらずジュビロは負けてしまいましたが、参加者は興奮さめやらぬ様子で家路につきました。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

シドニー〜ダーウィン間6, 200kmを9日間で走り抜く「第10回オーストラリアンサファリ・インターナショナルクロスカントリーラリー」(8月13〜21日)で、ヤマハTT250R Raidがクラス優勝!

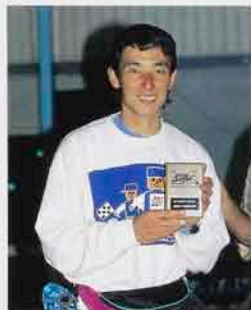


'94オーストラリアンサファリ TT250R Raid クラス優勝

第10回の開催を迎えたオーストラリアンサファリでTT250R Raidがクラス優勝。時差の少ないことや英語圏であることなどの条件から、比較的日本人エントリーの多いこのイベント。レースの開催される内陸部はサハラよりも人口密度が希薄で、そのコース設定の厳しさはバリ・ダカに勝るとも劣らない。

1日平均700kmのロングディスタンスと、例年にない低温、またシン普森砂漠でのSS(競技区間)を長く設定したため、完走率は27%となった。

30台の出走のうち250ccは8台で、吉友寿夫選手とヤマハ社員チームの1台を含めてTT250Rレイドは4台の出走。いずれもプライベートエントリー。13日にシドニーを出発し真っ直ぐにアウトバックに向かった。初日はSSのキャンセル(2輪のみ)



があったものの、翌日の第2レグで早くもリタイヤが続出し、2日終了時点で約半数がリザルトから消えた。

吉友選手は今年で3回目という経験を生かして、終始慎重なライディングを見せ、前半の山場であるシン普森砂漠を無難にクリア。リザルトも600ccに混ざって常に中位をキープしていた。同じ250クラスには地元ライダーのスティーブ・ライリー(ホンダ)が参戦しており、6日目まで2輪総合で4位を走っていたがトラブルでリタイヤ。

結局、完走は8台。250クラスの完走車は吉友選手1台だけとなり、クラス優勝を果たした。吉友選手のマシンは市販車のTT250Rレイドに、タンクやガード類、メーターなどにわずかな改良を加えただけで、エンジンもスタンダード。昨'93年の佐藤信哉氏と佐々木大明氏によるTT250R「幻の道・オーストラリア キャンピングストックルート走破! 1,870km」につづき、オーストラリアでのハイポテンシャルの証となった。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる



BIKE NATURALIST
 自然・自然・自然にやさしい乗り手とバイクの共存を
 目指す。安全・安心・快適な走りを実現し、
 自然を大切にしたい。それが私たちの願いです。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
 〒438 静岡県静岡市新野2500